

2 中学校編

【中学校編】の事例を実践するためには、フルバリューな学習環境がある程度できていることが前提です。しかし、中学校は教科担任制なので、教科担任一人だけの授業を通してフルバリューな学級や学習環境を意識付けることは難しいことだと思います。まず、フルバリューな職員室をつくり、他の先生方の理解と協力を得ながらフルバリューな学級・学習環境づくりをしていきましょう。その上で、教科学習の中に体験学習サイクルを活用していくことで、生徒自身の主体的な学びを促進することができます。

それでも、授業の中でフルバリューな環境ができていない状況が観えることもあると思います。授業の過程、生徒の学んでいるプロセスをしっかりと観察していれば、それが観えてくるはずです。その過程を観る指標がGRABBS Sチェックです。GRABBS Sチェックで、もしも、学習グループが目指している方向に進んでいない場合は、柔軟に適切な支援を行いきましょう。この視点をもつことでも授業は改善され、MAPを生かした授業が展開できるでしょう。